

報告第1号

2024年度 事業報告

一連のリニューアル工事も全て完了し、県の変更認定も受けた新たな事業項目のもと、2024年度あすては「ものづくり」を主要なテーマとして様々な事業を展開いたしました。

特に、金属加工のボランティア拠点として整備した「金KOBА」では、木製カローラを水素による燃料電池で動かすプロジェクトや、子どもたちに工具の使い方の基礎を半年間かけて教える「未来学校」などの事業で活発な活動が行われ、新たなものづくり活動の創出につなげました。

さらに、地域に開かれた空間として、あすて本館跡地を整備し活用する「Collina Naturale」事業では、登録グループ同士が連携しながら、読み聞かせや竹ドームづくり、枯竹の活用の実証実験などを行い、ボランティアが主体的に活動に取り組む様子が見られました。

あすてではこうした活動のすべてをSDGsの達成につながる活動と位置づけ、ボランティアとともに笑顔あふれる社会の実現に向けた取り組みを一層加速させました。

公益目的事業

(1) 地域の健全な発展を図るための事業

1 地域を笑顔に

ア いかす

ものづくりボランティアに対し活動場所や設備の提供などの支援を行うことにより、ものづくりの技を活かした製作活動や体験活動、イベントを開催し、広く県民にもものづくりの魅力を知ってもらうとともに、さらにものづくりボランティアへの関心を促すために、以下の事業を実施いたしました。

- ・社会の役に立つ製作活動…ボランティアが主体となって、「オルゴール」「踏み間違い防止訓練装置」「水素で動く木製カローラ」「ロボット」づくりなどを行いました。また、金KOBАのオープンを記念して、4月20日（土）に、トヨタ自動車㈱のExecutive Fellowの河合満氏をお招きして「ものづくりは未来をつくる」と題した講演会を開催し、100名の来場者を迎えました。さらに、愛知県内の工科高校の先生を対象とした技能実習なども開催し、合計で17名の方があすてで技能向上を図りました。
- ・間伐材有効活用プロジェクト…企業や団体の寄付をもとに、ものづくりボランティアが市内の間伐材を活用してベンチを製作し、豊田市内のこども園に4脚 県内の福祉施設に10脚、半田市内の保育園に24脚、市内の児童養護施設におもちゃの棚1台を寄贈しました。
- ・からくり…からくりの魅力を多くの人に伝えるために年間を通してからくりづくりを行い、7月28日（日）には、小中学生を対象にしたからくり教室を開催しました（参加者5名）。さらに、アイシンコムセンターやあすてのイベントで、からくり体験の出展も行いました。
- ・シニアロボコン…5月25日（土）に、シニアのためのロボットコンテストを開催し、6名が参加。20名の観覧者を迎え、熱戦を展開いたしました。
- ・ものづくりリンピック…3月20日（木）に、ものづくりグループや企業など10団体ほどが出展して水素カーやペイブレードづくり、左官体験などができるものづくりイベントを開催し、当日は750名の来場者を迎え、大盛況の内に開催することができました。

(2) 国際社会の健全な発展を図るための事業

1 世界を笑顔に

ア たかめる

ものづくりボランティアが主体となって、日本人と外国人がともに技能・技術を高めあい、製作活動を行うことで、国際相互理解につなげることを目的に、以下の事業を実施いたしました。

- ・世界の役に立つ製作活動…2025年度から、カンボジアへ修復した自転車を寄贈するプロジェクトを発足させるにあたって、修復するための自転車の収集やボランティアの募集、修復のための備品の整備などを行いました。

(3) 未来につながる担い手の育成を図るための事業

1 未来を笑顔に

ア つたえる

青少年が主体的にものづくりに挑戦する機会を提供するとともに、未来の担い手である青少年の育成を図るための講座やセミナーを以下の通り実施いたしました。

- ・丘KOBプロジェクト…県内の製造業に従事するものづくりボランティアの大人と青少年がともに未来のモビリティを開発・製作する事業「丘KOBプロジェクト」を、2024年度から豊田市と協働で開始しました。4つのチームが、「ソーラーカー」「旧車とエコの融合」「カセットボンベで動く車」「救急搬送モビリティ」のテーマに分かれて活動し、2025年度の完成を目指しています。
(活動回数：18回/年。活動延べ人数：大人 947名 青少年420名 マイスター407名)。
- ・未来学校…ものづくりボランティアが主体となって、青少年を対象とした工具の使い方教室を、10月～3月まで毎月1回開催し、小学5年生から中学3年生までの子ども6名が学びました。

(4) 豊かな人間性を涵養するための事業

1 現在を笑顔に

ア むすぶ

ボランティア同士がつながって、輪を結び、さらにその輪を外に広げていくことで、より豊かな人間性の涵養とボランティア意識の向上につなげていけるよう、ボランティアの交流や慰問などのコーディネートや機会の紹介などの支援を以下の通り実施いたしました。

- ・Collina Naturale…本館跡地を活用して、グループの連携によるマルシェを9月29日(日)に開催し、80名が来場しました。また、枯竹を活用して、土壌改良や防草、舗装に取り組む実証実験をグループ主体で行いました。
- ・むすぶプロジェクト…グループが、主体的に社会に向けた活動ができるよう支援を行いました。

- ・はじめの会…あすてで活動するボランティアが一堂に会し、新年度の事業について理解を深める会を Collina Naturaleのオープニングセレモニーと兼ねて、4月6日（土）に開催し、58名が参加しました。

イ ささえる

円滑で活発なボランティア活動を推進するために、ボランティア登録（個人登録料 500 円。毎年更新必要）および活動場所の貸与を以下の通り行いました。

- ・登録…活動のためのグループおよび個人のボランティア登録を行い、32 グループ、353 名が登録しました。
- ・場所貸与…登録されたボランティアに対し、活動に必要なあすての施設を無償で貸与しました。

ウ よりそう

ボランティア活動に関する相談・助言を以下の通り行いました。

- ・相談対応…ボランティアを行いたい方や、ボランティア活動の運営に関する相談に対し、年間を通し、あすて事務局が助言をしました。

エ ひろめる

リーフレット、ホームページ、通信、掲示、集会等を通して、あすての事業やボランティア活動の周知、啓発を以下の通り行いました。

- ・広報…リーフレットの発行、ホームページの運用、通信「むすび」の発行（7月、11月、3月の年3回）館内掲示などを行いました。
- ・あすての日…あすての設立記念日である12月11日に近い、12月8日（日）に、「ものづくりが築く未来の社会」と題したパネルディスカッションを、4名のパネリストをお招きし開催しました（来場者57名）。